

「メディアとしての都市・インフラ」再考
パネルディスカッション資料

Withコロナで都市がメディアに変化する

NEC R&Dユニット 中村祐一

コロナでこうなった



Withコロナにおける対応、現状

■ GMOパペボ：年4回の会議さえ出席すればどこに住んでもよい

■ 富士通：テレワークが基本、2022年度末までにオフィス規模50%削減

- Smart Work(自分にとっての最適な働き方), Boardless Office(勤務する場所に縛られない働き方)、Culture Change

■ 大学：大人数が集まる講義は基本的にリモート

- 大講義室は不要？

■ テレワークの普及で外出困難な障がい者の方も労働参加が可能に

■ 都心の住宅、オフィスの賃貸料、不動産価格の低下

- 地方からの学生がアパートを解約、1年生で未契約の学生も多い

■ 一方で、オフィスワーカーの自宅は在宅勤務に向いてない

- ・ オフィスワーカーは寝る以外は自宅にいないものとして設計されている
 - ビデオ会議をすると自家用車の中から参加する人もいる

これまでの都市の概念が崩壊するかも？

エストニアの例

■ 北欧の人口134万人の国、世界一の電子政府を実現

- 青森県とほぼ同じ
- 99%の行政サービスは電子化、電子投票、国会もオンライン参加
- ライフイベントサービスプランはすべて電子化
 - ・ 医療、教育、起業、自動車の購入、就職支援など
 - ・ 給付金は必要な人に配れるし、不正も難しい
- e-Residencyにより100ユーロ払えばだれでもバーチャル国民に



Wikipedia

■ デンマーク、ドイツ、スウェーデン、帝政ロシア、ナチス、ソ連に占領

- いつまた占領され、国土・領土を失うかもしれない
- 都市・物理的インフラの整備よりもICTの整備(メディアとしての都市)

■ **電子政府化により、たとえ国が侵略されて物理的に「国家」がなくなったとしても、国民の「データ」さえあれば国家は継続できる**

メディアとしての都市は物理的には存在せずバーチャルに存在？

バーチャルな世界がメインになったとき都市はどう存在するか？



バーチャルな都市 で楽しむ人々

<https://www.nintendo.co.jp/switch/acbaa/products/soft.html>



Dアニメストア：「攻殻機動隊ARISE border:3 Ghost Tears」特集
<https://anime.dmkt-sp.jp/animestore/CP/CP00000424>

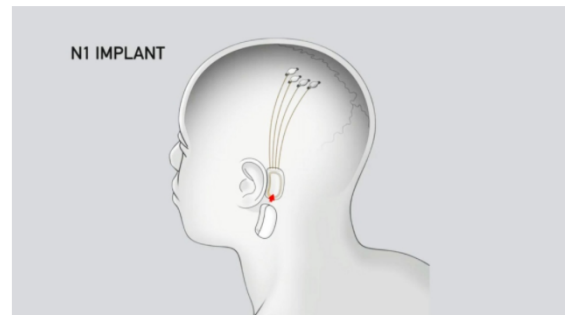
CNET Japan > ニュース > 企業・業界



E・マスク氏のNeuralink、脳とコンピュータをつなぐ技術の臨床試験を2020年に開始へ

Stephen Shankland (CNET News) 翻訳校正：編集部 2019年07月18日 08時00分

人間の脳とコンピュータの直接接続を目指す、Elon Musk氏の新興企業Neuralinkは、数千個電気プローブを脳につなげるシステムを開発し、2020年にこの技術の臨床試験を開始したいと考えている。最高経営責任者（CEO）のMusk氏が米国時間7月16日に明らかにした。動物実験では既に有効性を確認しているという。「サルは自分の脳でコンピュータを制御することができた」と、Musk氏16日、サンフランシスコからYouTubeでライブ配信されたプレゼンテーションで述べ、同社の科学者が期待していた以上の研究成果を発表した。



提供：Neuralink; Screenshot by Stephen Shankland/CNET

<https://japan.cnet.com/article/35140044/>

■ テーマパーク的な意味での都市は今後も存在しつづける

- 人が集まるところに人が集まる
 - ・コロナ拡大の原因ではあるが・・・。
- アミューズメント、ショッピング、エンターテインメント
 - ・アナログ的刺激を人は求めている
 - 映画館その他・・・

■ 経済性、利便性、効率性を失った都市はどう存在するか？

- オフィスがない、オフィスが少ない都市の未来は？

■ (注) これらはNECの見解ではなく中村個人の見解です。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC